

事業所名: グループホーム あしたば

作成日: 平成 26 年 7 月 20 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	入居者の方々は、子供たちとの交流を楽しみにされている。今後は、小学校への挨拶などを行い、子供110番の設置を含めて、小学生との交流の機会を増やしていきたいと考えている。	ホーム前にはバス停があり、近隣小中学校への通学路やJR駅へ向かう経路にもなっている。また、当ホームには24時間365日、いつでも介護スタッフが常駐している点を活かして、子供たちのみならず、一般の方々の防犯に役立つ対応ができるように取り組んで行く。	近隣小学校に連絡し、子供たちの登下校時のみならず、普段の安全の拠りどころとしての『こども110番のいえ』を引き受ける。また、普段でも気軽に立ち寄ってもらえるよう、低・中学年の地域探検等のルートに加えて立寄ってもらえるよう、学校の先生方にも協力を仰ぎたい。防犯灯の設置も考慮中。	12ヶ月
2	51	今後も、体調や天候などを見ながら、外出する機会を増やしていく予定である。テレビを見ながら季節のお花の話題が膨らむことが多く、“今しか出来ない外出”を増やしていく予定である。	入居されている方々の認知症のBPSDや心身状況に応じて、また、ご家族等のご協力を得て、季節を感じながら、無理のない範疇での散歩や外出・ドライブ等を楽しんでいただけるような支援を行なう。	全入居者さんでの外出は困難な状況にあるので、個々の入居者さんの要望をスタッフが共有して、ドライバーとスタッフ1名で対応できる位の少人数での外出(ドライブ)や、マンツーマンでの散歩などで、季節的にも時機的にも“今しか出来ない外出”を増やしたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月